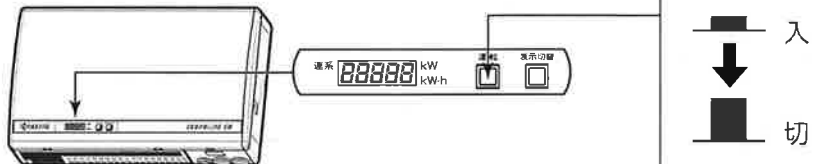


停電時の使い方（自立運転）

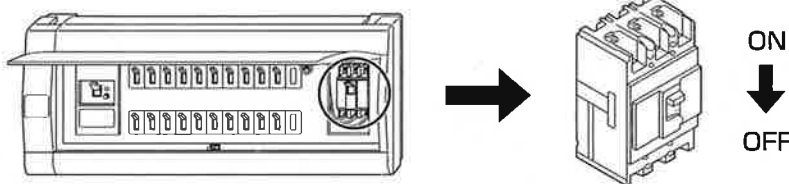
停電の時でも日照があればパワーコンディショナを運転させ、発電した電力を自立運転出力（専用コンセント、自立運転出力端子台）に供給（AC100V、最大1500W〔出力合計〕）します。ただし、日照条件により発電量が少ない場合は1500Wまで使用できないことがあります。

▶ 連系運転から自立運転に切り替える

1 運転スイッチを「切」にする



2 外部のサービスブレーカを「OFF」にする

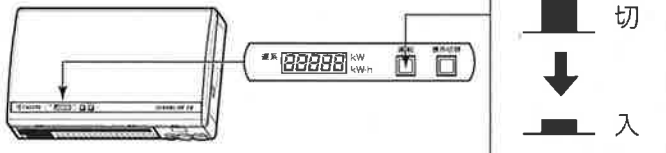


※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 運転スイッチを「入」にする

切り替え操作の際は、運転スイッチ「切」から1秒以上おいて運転スイッチを「入」にしてください。

※切り替え操作（「切」→「入」）の時間が短い（1秒以内）場合、「E0」を表示することがあります。



連系運転から自立運転に切り替えたとき、数秒～1分程度たった後に発電を開始します。その間、表示部は“—”を点滅表示し、自立運転待機中であることを示します。

4 使用する電気製品を自立運転出力用コンセントに接続する

自立運転出力（パワーコンディショナ側面の専用コンセントおよび、自立運転出力端子台に接続された専用コンセント〔別途設置工事を行った場合〕）に家庭内の電気製品の電源プラグを直接差し込んでください。



注：出荷時パワーコンディショナは電源周波数60Hz設定となっています。50Hzで出力する場合は、一度50Hzの系統へ連系させると50Hz設定に切り替わります

- ・負荷によって使用できないものがあります。
- ・自立運転時の出力電流は合計で最大15Aです。出力できる電流は日射などによりかわります。
- ・太陽の日射が弱いときに自立運転を行うと電力供給のオン/オフを繰り返したり、停止してしまうことがあります。これは接続した電気製品に供給するだけの発電電力が不足しているためであり、故障ではありませんが電気製品の故障の原因となるため、使用を止めてください。

5 翌日も自立運転を行う場合

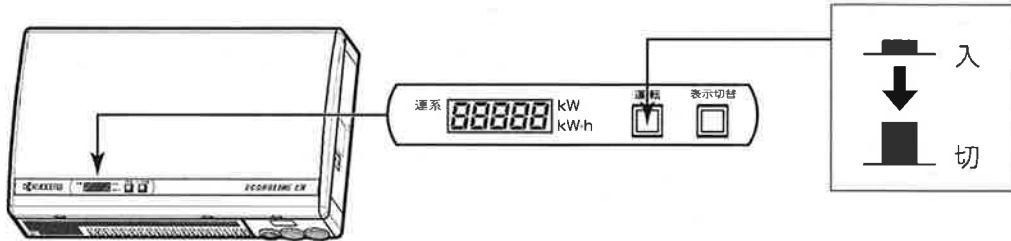
パワーコンディショナの運転スイッチを一度「入」から「切」にし、再度「入」にする。

自立運転を毎日行う場合は、毎日運転スイッチの再操作が必要です。そのままでは出力が出ません。

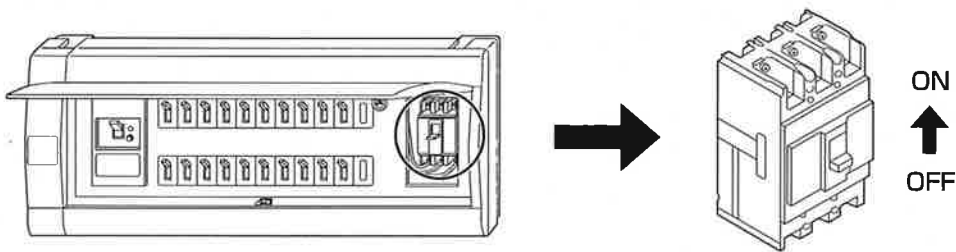
復電時の操作

▶ 自立運転から連系運転にもどす

1 運転スイッチを「切」にする



2 外部のサービスブレーカを「ON」にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 運転スイッチを「入」にする



・外部のサービスブレーカを「ON」にしてから2.5～5分間は発電を開始しませんが異常ではありません。その間、表示部は“運転開始までの残り時間（秒）”を表示します。

カネカ(オムロン)1/2

2-3 連系運転モードから自立運転モードへの切替方法(停電時)

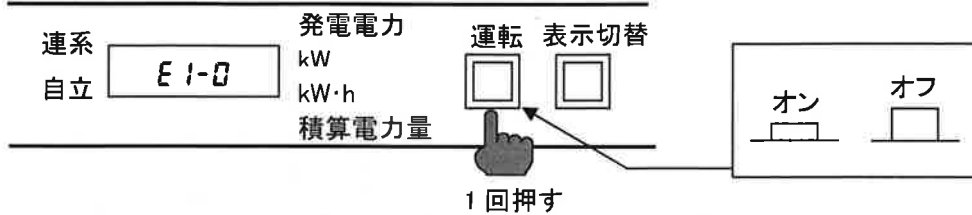
自立運転とは、停電などにより電力会社から電力が供給停止された場合、太陽電池が発電した電力をAC100Vで最大15A(本体側、専用口の合計が1.5kVA)供給します。

①太陽光発電用ブレーカを‘オフ’にしてください。

②運転スイッチを‘オフ’にしてください。

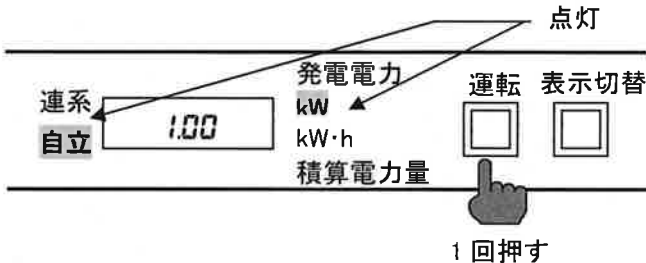
表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



③運転スイッチを‘オン’にしてください。

数秒後に自立ランプが点灯し、自立運転を開始します。



④自立運転を停止させる場合は、運転スイッチを‘オフ’にしてください。

●自立運転モード時、表示部には停電用コンセントに接続した機器の消費電力を表示します。

停電用コンセントに何も接続していない場合、表示部には「0.00」を表示します。

●翌朝に停電が回復していない場合、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にすると自立運転を開始します。

警告

停電用コンセントから供給する電圧は、太陽の光が弱くなると必ず低下します。
接続に際しては突然停止しても安全性に問題がない機器であることを確認してください。
次の機器を停電用コンセントに接続しないでください。

- ・すべての医療機器、灯油やガスを用いる冷暖房機器
- ・パソコン、ワープロなどの情報機器
- ・その他、途中で止まると生命や財産に損害を及ぼす機器

停電用コンセントの電圧出力が停止し、人身傷害や接続した機器に機能障害が稀に起こる恐れがあります。



自立運転する前に必ず太陽光発電ブレーカを OFF してください。
万が一の場合、感電による障害や火災が起こる恐れがあります。



カネカ(オムロン)2/2

重要

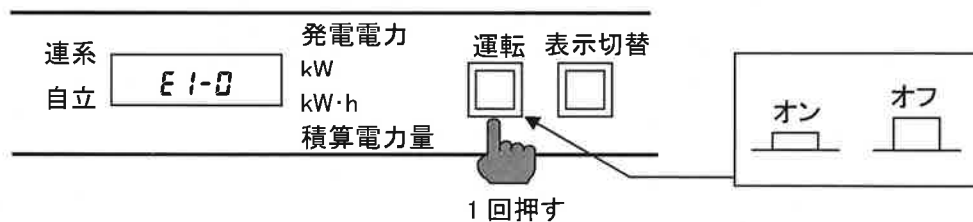
- (1) 太陽電池が発電していないときは、自立運転モードで運転できません。
- (2) 停電用コンセントに使用したい機器を接続してください。
また、接続する機器の最大電力は 1.5kVA 以内(AC100V 最大 15A 以内)になるようにしてください。
- (3) 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働きパワーコンディショナが停止することがあります。
 - 保護機能が働き停止した場合
 - ① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。
 - ② 停電用コンセントに接続している電気製品を減らしてください。
 - ③ 運転スイッチを再度‘オン’にしてください。
- (4) 夜間、または天候による変化で太陽電池の発電電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。
自立運転を再開させる場合は、運転スイッチを‘オン’から‘オフ’にし、再度‘オン’にしてください。

2-4 自立運転モードから連系運転モードへの切替方法(復電時)

- ① 運転スイッチを‘オフ’にしてください。

表示部に「E 1-0」が表示されていれば、太陽電池は発電しています。

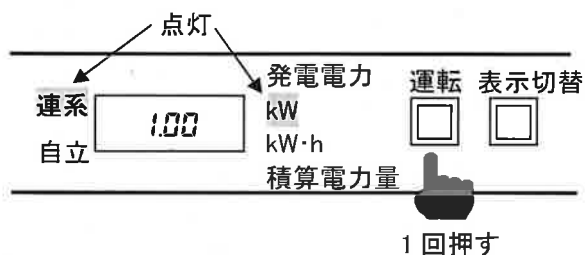
太陽電池が発電していないと、すべての表示は消灯しています。



- ② 太陽光発電用ブレーカを‘オン’にしてください。

- ③ 運転スイッチを‘オン’にしてください。

カウントダウン終了後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。



■ 自立運転モードに切り替える

以下の操作で自立運転モードに切り替えることができます。

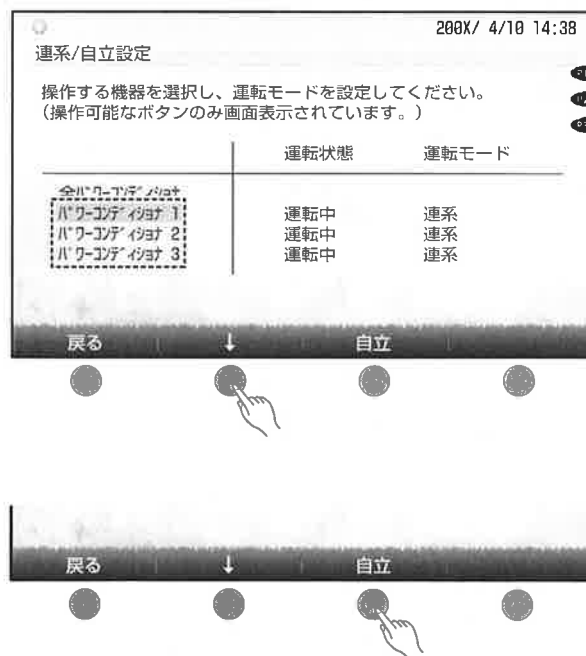
- 1 自立運転コンセントに接続する
- 2 連系運転を停止する（☞ 83 ページ）
- 3 右側面の **連系/自立** ○ を押す

連系 / 自立設定画面が表示されます。



- 4 複数のパワーコンディショナをお使いのときは、**▼** で選ぶ

操作可能なパワーコンディショナの名前は黒字で表示されます。
 パワーコンディショナが1台のときは、この操作をとばして次に進んでください。



- 5 **自立** を押す

自立運転モードに切り替わります。

- 6 自立運転を開始する（☞ 83 ページ）

目次
 1. 設置
 2. 初期設定
 3. 運転モード
 4. 故障時の対応
 5. 安全に関する注意事項
 6. 付属品
 7. 保証
 8. お問い合わせ

■ 連系運転モードに戻す

停電から復帰したら、必ず以下の操作で連系運転モードに戻してください。

1 自立運転を停止する（☞ 83 ページ）

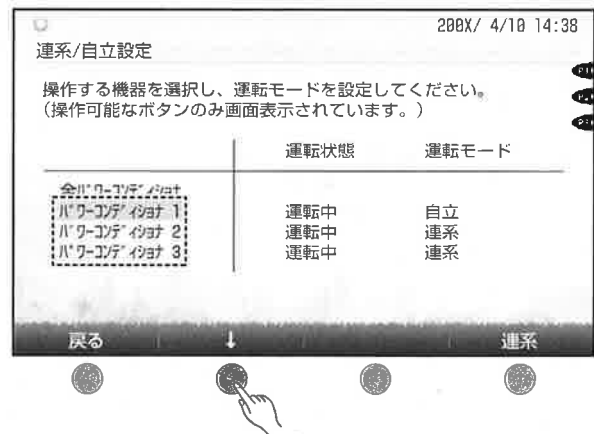
2 右側面の **連系/自立** ○ を押す

連系 / 自立設定画面が表示されます。



3 複数のパワーコンディショナをお使いのときは、 で選ぶ

パワーコンディショナが1台のときは、この操作をとばして次に進んでください。



4 **連系** を押す

連系運転モードに戻ります。

